

はなしごと様寄稿脚本

# 「少女Aからの御手紙」

作 仲野識（少女蘇生）

マトリカリアの花言葉

「恋路」

「深い愛情」

## 演出指示

沖村さん用に書き下ろしたため、おそらく意図を読み取って上手に読めると思うので、細かな指示は出しません。

基本的にゆっくりめに読む。感情を強く出しすぎない。優しい語調を意識して。雰囲気をもって甘やかに。対愛する人を意識して。最後には希望を感じるように。

動画 タイトルバック。黒背景にタイトルがゆっくり浮かび上がり、溶ける。

あなたにこうやって、筆を取るのは、初めてですね。最初で、最後の、御手紙です。だからどうか、そっとしまっておいて。

髪を切ろうと決めたのは、あなたが好きだと言ったから。

今日手紙を書いたのは、マトリカリアがきれいに咲いたから。

夜明けのころ、目を覚ましてとなりに寝ている私に触れているのを知っています。震える手で頭を撫でて、頬を撫でて、そっと口付けて。面と向かって言えないことを、小さな声で呟いているのを知っています。

あなたの目が、私を通して別の人を見ていることを知っています。あなたが、わたし以外の人と愛を囁き合っていることも知っています。

あなたが思い出話をするたびに、私とはそれができないと言われていている気がして辛かったことを、ねえ、きつとあなたは、知らないのでしょうかね。

疎む足が、あなたの声が、揺らぐころはそっと邪魔をする。

だから知らないふり、見ないふり、聞こえないふりを、ずっとしてきました。

それでも、あなたを、あいしているからです。

あいしているからなのです。

愚かしいあなた、期待するわたし。これは、罪なあなたへ捧げる、形のないものゆえの文（ふみ）。罪なあなたを愛した私の、これは罰なのです。

手紙に添えたマトリカリアの花束が枯れる前に、

どうか私を、見つけてください。

動画 芍薬の花束。タイピングの動きで下記、センターへ一行ずつ現れる。

マトリカリアの花言葉

「恋路」

「深い愛情」

すべて現れたら、余韻を持たせて、背景の花束と一緒に溶ける。白背景へ。